

地球にやさしいヘアリーベッチのお米



マメ科植物「ヘアリーベッチ」を使った米づくり！！

ヘアリーベッチの力は偉大・・・空気から養分を作ってくれる！

お米を、化学肥料に頼らずに生産し、余分な温室効果ガスを排出しません！

ヘアリーベッチってなに？

ヘアリーベッチは、マメ科ソラマメ属の一年草。つる性で茎は2m近く伸びます。

マメ科植物は、根に共生する根粒菌（バクテリア）の働きにより、空気中の窒素を吸収利用できます。もちろん二酸化炭素も吸収しています。

田んぼでヘアリーベッチを育て、空気中の二酸化炭素と窒素から養分を作ってもらってからすき込み、イネを栽培すれば、化学肥料をほとんど使用せずに、おいしいお米ができます。



ヘアリーベッチはなぜ地球にやさしいの？

ヘアリーベッチを栽培して田んぼに使う化学肥料を節約すれば、化学肥料を製造・運搬する過程で排出される、温室効果ガスを削減できるからです。ヘアリーベッチそのものも空気中から最大で 20-25 kg の窒素を固定し、その 11-12 倍の炭素を吸収します。CO₂ にすると 10a 当たり 1t 近くを農地に蓄える効果があります。

また、ヘアリーベッチの花には、たくさんのミツバチが集まります。ミツバチは環境の変化をいち早く受ける「環境指標生物」です。ヘアリーベッチは「ミツバチを育む農法」として期待されています。



東播磨地域では、地球にやさしい米づくりに取り組んでいます。

ヘアリーベッチを使って減化学肥料・減化学農薬で栽培したお米は、「ひょうご安心ブランド農産物※」として、兵庫県から認証され、「花美人」(JAあかし)、「志方健やか米」(JA兵庫南)の名称で販売されています。



※ひょうご安心ブランド農産物: 堆肥等有機質資材を使用する等の土づくりを基本に化学肥料、化学農薬の使用を50%以上削減しています。農薬を使用した場合、その残留農薬が国基準の1/10以下であることを確認しています。